

アスピラントガイドについて

一般社団法人日本アルパインガイド協会
資格審査委員会

日本アルパインガイド協会のガイド資格にアスピラントガイドがあります。アスピラントガイドを導入した背景とともにアスピラントガイドの位置づけについて以下に説明します。

日本アルパインガイド協会には、アルパイン・ガイドというオールマイティにガイド活動を行える資格があります。このアルパインガイドになるためには、以前は、ガイド養成学校で一年間の研修に合格すれば資格認定されました。現在は、ガイド養成学校でアルパインガイドレベルのガイド研修をして合格になったら、アスピラントガイドになります。直接アルパインガイドになることは出来ません。その後、2年間～5年間のガイドとしての実務経験を行った後にアルパインガイドになっていくこととなります。

フランスの例を挙げますと、ENSAで全課程のコースを修了しますと、アスピラントガイドの資格が与えられます。その後に2年から5年のガイドとしての実務経験をつんで、ギド・オートモンターニュ（高山ガイド、正ガイド）になっていきます。全く同様の課程をAGSJでも導入しています。ガイドとしての能力をより高めることと、国際機関との連携を考えたとき、この方式が協会にどうしても必要とされたことによります。よって、ガイド養成学校に新たに入校された方は、アスピラントガイド、あるいはマウンテンガイドのどちらのコースで研修を行うかの判定をされます。

以上